

平成22年度

第1回 三次市地域公共交通会議資料

平成22年6月8日

三次市地域公共交通会議





## もくじ

### 1 報告事項

- ( 1 ) 三次市地域公共交通会議委員の交代について
- ( 2 ) 平成 2 1 年度三次市地域公共交通会議収支決算報告について  
( 監査報告 )
- ( 3 ) 作木線の路線等の変更について

### 2 協議事項

- ( 1 ) 平成 2 2 年度三次市地域公共交通会議補正予算 ( 案 ) について
- ( 2 ) 市街地循環 ( バス ) 線について
  - ア . 実証運行路線等の確認
  - イ . 今後の手続き並びにスケジュールについて
- ( 3 ) 平成 2 2 年度三次市地域公共交通総合連携計画事業調査等業務について
  - ア . 業務内容 ( 仕様 ) について
  - イ . 委託方法について
- ( 4 ) 三次市地域公共交通会議分科会の設置について
  - ア . 分科会規程 ( 案 ) について
- ( 5 ) 三次市民バス路線変更等について
  - ア . 吉舎町線の代替ルートについて
  - イ . 甲奴町線上川地内の一部変更 ( 運行計画の変更 ) について

### 3 その他

- ( 1 ) 鉄軌道に関する取り組みについて
  - ア . 芸備線対策協議会の取り組みについて
  - イ . 三江線活性化協議会の取り組みについて

## 1 報告事項

### (1) 三次市地域公共交通会議委員の交代について

関係機関の人事異動等に伴い次のとおり委員の交代がありました。

三次市地域公共交通会議委員名簿

(敬称略)

構成区分	委 員		
(1)三次市	三次市 三次市地域振興部	副市長 部 長	増田 和俊 元廣 修(交代)
(2)一般旅客自動車運送事業者	備北交通株式会社 十番交通有限公司 有限会社三良坂タクシー	営業部長 代表取締役 代表取締役	實兼 利光 有木 好文 國定 繁幸
(3)一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	私鉄中国地方労働組合備北交通支部	書記長	土井 弘文
(4)住民又は利用者の代表		日下町 布野町 甲奴町	武内 一登 中村 義和 山田加代子
	三次商工会議所 三次広域商工会 三次市社会福祉協議会	総務課長 事務局長 事務局長	竹本 勇夫 湯藤 浩康 三上 勝明(交代)
(5)国土交通省中国運輸局広島運輸局支局長又はその指名する者	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	八澤 昭二(交代)
(6)広島県企画振興局地域振興部長又はその指名する者	広島県企画振興局地域振興部地域政策課	課 長	八谷 秀幸(交代)
(7)道路管理者	三次市建設部	部 長	藤井 敏美
(8)広島県警三次警察署長又はその指名する者	広島県三次警察署	交通課長	三原 隆之(交代)
(9)学識経験者その他の交通会議が必要と認める者	米子工業高等専門学校	講 師	加藤 博和

## (2) 平成21年度 三次市地域公共交通会議収支決算報告について

平成21年度決算額は次のとおりです。

### 【歳入の部】

予算額	決算額	差引増減	説明
1. 負担金 1. 負担金 1. 負担金 689,000	1. 負担金 1. 負担金 1. 負担金 689,000	1. 負担金 1. 負担金 1. 負担金 0	・三次市負担金
2. 補助金 1. 補助金 1. 補助金 6,800,000	2. 補助金 1. 補助金 1. 補助金 6,800,000	2. 補助金 1. 補助金 1. 補助金 0	・平成21年度地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金 (4/13 中国企交第5号)
3. 繰越金 1. 繰越金 1. 繰越金 45,400	3. 繰越金 1. 繰越金 1. 繰越金 45,400	3. 繰越金 1. 繰越金 1. 繰越金 0	・前年度繰越金
4. 諸収入 1. 諸収入 1. 雑入 0	4. 諸収入 1. 諸収入 1. 雑入 84	4. 諸収入 1. 諸収入 1. 雑入 84	・預金利息
7,534,400	7,534,484	84	

### 【歳出の部】

予算額	決算額	差引増減	説明
1. 運営費 724,400	1. 運営費 523,500	1. 運営費 200,900	
1. 会議費 1. 会議費 634,400	1. 会議費 1. 会議費 497,280	1. 会議費 1. 会議費 137,120	・委員報酬等 ・会議時お茶代
2. 事務費 1. 事務費 90,000	2. 事務費 1. 事務費 26,220	2. 事務費 1. 事務費 63,780	・源泉徴収納付金 ・振込手数料
2. 事業費 1. 事業費 1. 事業費 6,800,000	2. 事業費 1. 事業費 1. 事業費 6,800,000	2. 事業費 1. 事業費 1. 事業費 0	・連携計画策定調査業務委託料
3. 予備費 1. 予備費 1. 予備費 10,000	3. 予備費 1. 予備費 1. 予備費 3,150	3. 予備費 1. 予備費 1. 予備費 6,850	・甲奴三次線公共交通導入試験 運行出発式経費
7,534,400	7,326,650	207,750	

歳入総額 7,534,484 円 － 歳出総額 7,326,650 円 ＝ 繰越額 207,834 円

監査を平成22年4月27日に受けました。

会計監査報告書

平成21年度三次市地域公共交通会議歳入歳出の決算にあたり、関係帳簿並びに証拠書類の計数確認及びその執行内容を審査した結果、適正に経理されているものと認めます。

平成22年4月27日

三次市地域公共交通会議  
会長 増田 和俊 様

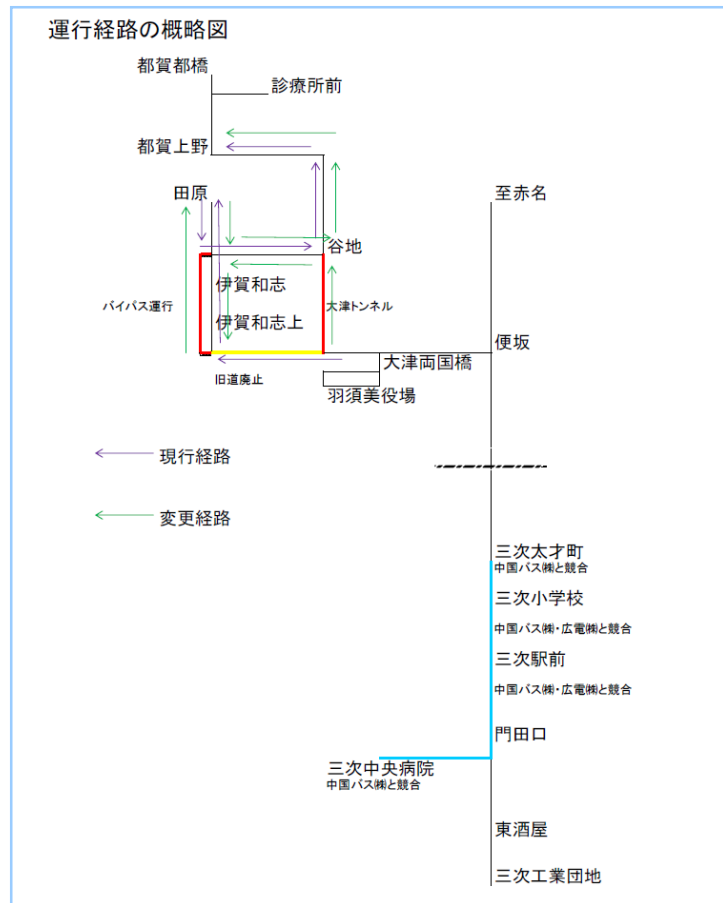
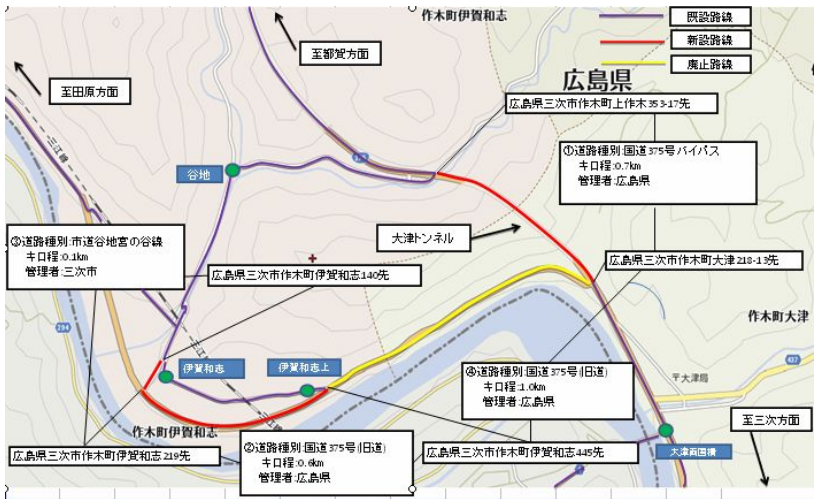
三次市地域公共交通会議

監事 湯藤 浩康 

### (3) 作木線の路線等の変更について

平成21年度第4回交通会議で協議した計画にて、5月16日(日)から次の路線及びダイヤに変更しています。

変更ダイヤについて・・・別紙資料1のとおり



## 2 協議事項

### (1) 平成22年度 三次市地域公共交通会議補正予算(案)について

中国運輸局長から中国自一第8号-17号(平成22年4月1日付け)で「地域公共交通活性化・再生総合事業計画の認定について」の通知がありました。

また、補助目安額が示されましたので、次のとおり予算を補正するものです。

#### 【歳入】

平成22年度当初予算額	補正額(案)	補正後予算額(案)	説明
1. 負担金 1. 負担金 1. 負担金 2,062,000	1. 負担金 1. 負担金 1. 負担金 60,000	1. 負担金 1. 負担金 1. 負担金 2,002,000	・委員報酬等の減 (事業費負担額は増)
2. 補助金 1. 補助金 1. 補助金 7,800,000	2. 補助金 1. 補助金 1. 補助金 1,357,000	2. 補助金 1. 補助金 1. 補助金 6,443,000	・車両「アップ」・改造 5 ・実証運行経費 1,465 ・バス停等設置工事費 +300 ・記念回数券印刷 +100 ・評価等調査業務委託料 92 ・市民バス再編 +105 ・市民タクシー導入 300
3. 受託料 1. 受託料 1. 調査業務 3,000,000	3. 受託料 1. 受託料 1. 調査業務 92,000	3. 受託料 1. 受託料 1. 調査業務 2,908,000	・評価等調査業務委託料 (市負担額)
4. 繰越金 1. 繰越金 1. 繰越金 208,526	4. 繰越金 1. 繰越金 1. 繰越金 692	4. 繰越金 1. 繰越金 1. 繰越金 207,834	・前年度繰越金の減
5. 諸収入 1. 諸収入 1. 雑入 474	5. 諸収入 1. 諸収入 1. 雑入 308	5. 諸収入 1. 諸収入 1. 雑入 166	・利息収入の減
13,071,000	1,510,000	11,561,000	

#### 【歳出】

平成22年度当初予算額	補正額(案)	補正後予算額(案)	説明
1. 運営費 780,000	1. 運営費 200,000	1. 運営費 580,000	
1. 会議費 1. 会議費 690,000	1. 会議費 1. 会議費 160,000	1. 会議費 1. 会議費 530,000	・委員報酬等を減額
2. 事務費 1. 事務費 90,000	2. 事務費 1. 事務費 40,000	2. 事務費 1. 事務費 50,000	・源泉徴収納付金等の減
2. 事業費 1. 事業費 1. 事業費 8,771,000	2. 事業費 1. 事業費 1. 事業費 135,000	2. 事業費 1. 事業費 1. 事業費 8,636,000	・車両「アップ」・改造 10 ・記念回数券印刷 +200 ・評価等調査業務委託料 184 ・市民バス再編経費 +410 ・市民タクシー導入経費 280 ・その他(講習費用等) 271



3. 繰出金 1. 繰出金 1. 繰出金 3,500,000	3. 繰出金 1. 繰出金 1. 繰出金 1,165,000	3. 繰出金 1. 繰出金 1. 繰出金 2,335,000	・実証運行委託 1,465 (運行委託費 3,070) ・バス停等設置工事費 +300 (計工事費 1,600)
4. 予備費 1. 予備費 1. 予備費 20,000	4. 予備費 1. 予備費 1. 予備費 10,000	4. 予備費 1. 予備費 1. 予備費 10,000	
13,071,000	1,510,000	11,561,000	

【参考：補正後の事業等概要】

事業項目	内容	予定事業費(千円)	うち補助金
・実証運行経費		3,070	1,535
・バス停等設置	新規7箇所等	1,600	800
・車両ラッピング	6m×3m×2面 40㎡ @25,500	940	470
・車両機器設置等	IC機器,案内放送,運賃登録等	650	325
・記念回数券作成	5000冊予定	200	100
・評価等調査業務委託料	各種導入支援・アンケート等実施	5,816	2,908
・市民バス再編	運行の平準化,乗降ステップ設置	610	305
・市民タクシー導入	地域勉強会等開催	20	-
・その他	自家用有償旅客運送準備 循環バス実証運行準備(出発式等)	400	-

は三次市へ委託して実施,朱書きは市負担金額及び繰越金等

## (2) 市街地循環(バス)線について

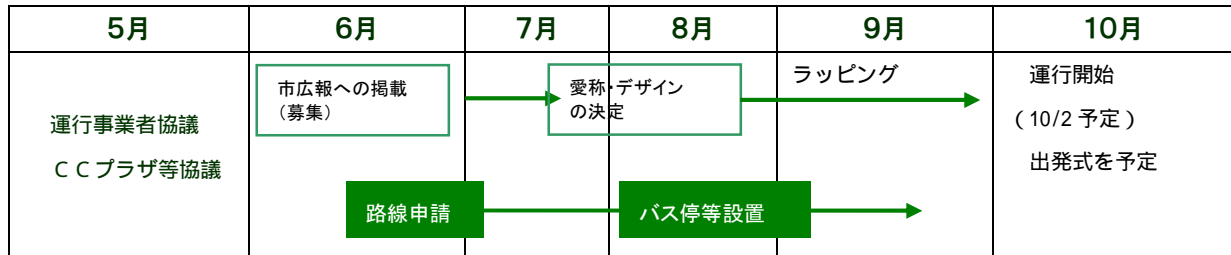
### ア. 実証運行路線等の確認

運行事業者	備北交通株式会社
実証運行路線	別紙資料2のとおり
新設停留所	医療機関,商業施設等が利用しやすいよう,できるだけ細かな設置を行うよう進めています。別紙資料3のとおり
導入車両(新規)	低床小型(ノンステップ仕様) 公共交通移動円滑化設備整備費補助金
その他	愛称及び車両ラッピングデザインの募集:別紙資料4のとおり

【導入予定同型車両】



### イ. 今後の手続き並びにスケジュールについて



### (3) 平成22年度三次市地域公共交通総合連携計画事業調査等業務について

計画事業に伴い運行計画策定、運営及び評価・検証の業務を委託します。

#### ア. 業務内容(仕様)について

項目	内容	備考
市街地循環バスの実証運行 (運行計画等支援)	・各種準備に関すること ・評価, 検証に関すること	広報・デザイン等 利用者アンケート等
三次市民バスの再編支援 (運行計画等支援)	・平準化調整・周知に関すること ・アセスメント指針に関すること	変更時刻表の作成 調査業務・入力作業等
市民タクシーの導入支援 (運行計画等支援)	・導入準備, 運営に関すること	広報等
その他公共交通の活性化・再編 (利用促進等)	・連携計画事業に関すること	路線バス再編 自家用有償旅客運送準備
三次市地域公共交通会議	・運営支援に関すること	資料作成等
各報告書作成	・上記に係る報告書の作成	自己評価等

#### イ. 委託方法について

(株)地域未来研究所中国四国事務所と随意契約を締結します。

(理由)三次市域の実情を把握していること及び三次市地域公共交通総合連携計画の策定に携わっていること。

委託予定額 (金額) 5,816千円(消費税及び地方消費税を含む)

#### (4) 三次市地域公共交通会議分科会の設置について

「連携計画に位置づけられた事業の実施に関する事項」について、専門的に協議又は調整を行うことを目的とします。

##### ア. 分科会規程(案)について

三次市地域公共交通会議分科会規程(案) 別紙資料5のとおり

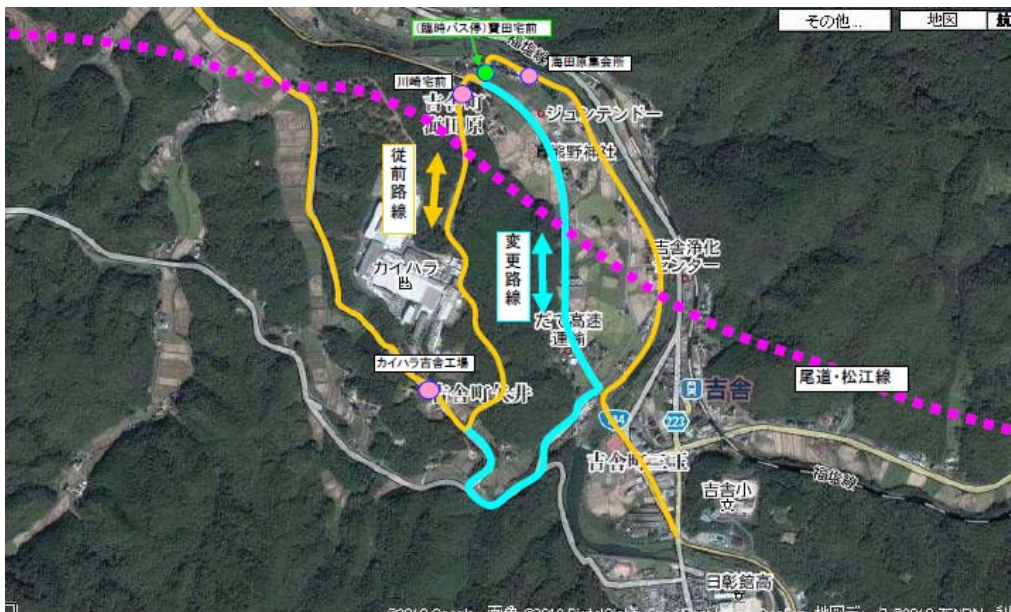
- ①目的      三次市民バスの再編(平準化等)  
              三次市民タクシー制度の利用地域拡大  
              自家用有償旅客運送の導入準備
  
- ②分科会      三次市民バス・市民タクシー検討分科会  
              自家用有償旅客運送検討分科会  
              市街地循環バス活性化検討会議
  
- ③メンバー    別紙資料6のとおり

#### (5) 三次市民バス路線の変更等について

##### ア. 吉舎町線の代替ルートについて

尾道・松江自動車道工事に伴い吉舎町海田原地区の一部が通行止めになります。

・期 間 平成22年9月から平成23年5月末(予定)



## イ. 甲奴町線上川地内の一部変更(運行計画の変更)について

地域の実情を考慮し、一部予約制の区間を設定します。

- ・変更予定日 平成22年7月下旬(予定) (週1回程度の利用を想定:ヒアリングより)



### 3 その他

#### (1) 鉄軌道に関する取り組みについて

##### ア. 芸備線対策協議会の取り組みについて

平成22年度 県立広島大学地域課題解決研究の研究課題として「三次市を中心としたローカル線の利用促進に関する研究」と題して応募しています。

県内地域における課題解決に向けた研究について提案を公募し、その中から本学における研究分野と合致するテーマについて、提案者と県立広島大学が共同して、その解決を目指した研究を行います。

##### イ. 三江線活性化協議会の取り組みについて

平成22年度 地域公共交通活性化・再生総合事業（調査事業）に認定されました。

###### 【三江線活性化協議会 資料より抜粋】

沿線地域として危機感を持って、三江線の活性化のための取組を行い、利用客の低迷に歯止めをかけ、少しでも増加させたいと考えている。

具体的には、本調査事業を活用し、利用実態や住民ニーズ・課題・公共公益施設等の立地状況等の調査を行い、日常利用のつなぎとめ、掘り起こしを行うとともに、風景・食文化等の利用促進につながる地域資源の調査等を行い、他のエリアからも含めた観光利用促進策の検討などを行うことなどにより、利用客の低迷に歯止めをかけさらに反転させていく必要があると考えている。

このため、沿線の6つの市町及び島根県が協働し、さらに、利用者代表や観光関係者、島根県立大学、運行主体であるJR西日本米子支社の参画も得て、三江線活性化協議会を設立し三江線の活性化に資する連携計画の策定調査を行うものである。

